

科目番号	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
17148	伊語特演 B (伊語 VI)	2 単位 後期	1~4	講義	ピエトロ・スコツァリ (非)

■テーマ 中級から上級レベルのイタリア語コミュニケーション能力の習得

■授業概要

イタリア語のコミュニケーション能力を高めたい学生のためのクラス。イタリア語を母国語とする講師による授業。実用的な会話表現を習得しながら文法事項を学び、多くの練習によってイタリア語による表現力を高める。

■学習目標

基本的な文法事項の理解を深め、イタリア人講師とのコミュニケーションにより、正しいイタリア語の発音を身につけ、実用的な会話表現を習得する。

■授業計画・方法

新聞・雑誌記事、旅行ガイドブック、歌詞など様々なテキストを使い、イタリアの歴史・文化・現代社会の多彩な側面について学びながら、実践的なイタリア語によるコミュニケーション力を高める。必要に応じて文法の復習や確認をし、着実にイタリアという国についての理解と会話力を高める。

第1週	課題（映画鑑賞）の振り返り、イタリア家族の食卓	第9週	北部、中部、南部：イタリアの地域差
第2週	健康：病院での医師との会話	第10週	丁寧な表現：接続法や仮定法について
第3週	買物：小売店、スーパー、市場にて	第11週	ジェスチャー、俗語、方言など
第4週	警察署：緊急時の対応について	第12週	お金を使う：ATM、銀行、両替、口座
第5週	初めての街：観光情報を入手する	第13週	郵便局にて：荷物を送る、料金支払
第6週	劇場・美術館：イベントに参加する	第14週	高速道路：レンタカー、高速、ガソリン
第7週	規則：礼儀、時間を守る、ごみ問題	第15週	まとめ、 期末テスト
第8週	動物：動物保護活動や団体について 動物に関連する伊語の動詞		

※各ユニットでプリントを配布する。授業計画は、進行状況や習熟度により多少変動する場合がある。

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

授業は予習していることを前提に進めるので、わからない単語や表現は、事前に調べておく必要がある。毎回、授業で取り上げたテーマに関する宿題を与える。また、暗記事項が多いので、復習も不可欠である。辞書を必ず持参すること。

■成績評価の方法・基準

- 方法 期末試験(40%)、授業への積極性・貢献度(30%)、宿題(30%)
- 基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献等

教科書は使用しない。